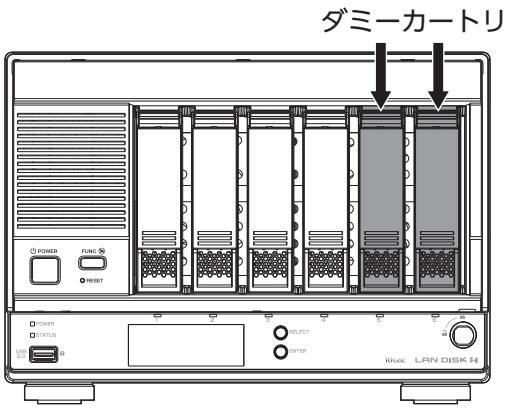
I-O DATA

MANU001440

取　扱　説　明　書

Linux OS搭載 法人向けNAS
HDL4-HBEXシリーズ

本紙は、本製品 (HDL4-HBEX シリーズ) と、HDL6-HB シリーズの違いについて説明しています。本製品は、スロット 1～4 のカートリッジ 4 台で構成されています。



添付品を確認する

※別紙の初回設定マニュアル内【添付品を確認する】は読み飛ばしてください。

- □ 本体（1式）※カートリッジ4台、ダミーカートリッジ2台
- □ 電源コード（1本）
- □ LANケーブル （2本）
- □ ロック(LOCK)キー（2本）
- □ 電源コードクランプ（1個）
- □ 初回設定マニュアル（1枚）
- □ 必ずお読みください（1枚）
- ☑ HDL4-HBEXシリーズ 取扱説明書［本紙］

使用方法や困ったときには？

使用方法は、HDL6-HB シリーズと同じです。
本紙に記載されていない内容は、初回設定マニュアル、詳細ガイド（Web）をご確認ください。

※ 本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

アップグレード

本製品のスロット5、6にカートリッジを2台増設すると、本製品をHDL6-HBシリーズ相当へアップグレードできます。カートリッジの増設方法は、本紙裏面をご覧ください。

現在のモードにより、増設後の設定が異なります。
※現在のモードについては、設定画面の[情報]→[ボリューム情報]でご確認ください。

自動組込有効のRAIDeX(拡張ボリューム)(4台)の場合 (出荷時設定)

カートリッジを追加すると、自動で組み込まれます。
そのままご使用ください。

自動組込無効のRAIDeX(拡張ボリューム)(4台)の場合

増設カートリッジの組込が必要です。方法は、詳細ガイド（Web）の【RAIDモード】をご覧ください。

RAID x (4台)の場合

RAIDモードで利用の場合は、再フォーマットが必要です。再フォーマットの手順は、詳細ガイド（Web）の【RAIDモード】をご覧ください。
※内蔵ディスクは全てフォーマットされます。本製品にデータが保存されている場合は、再フォーマットの前にバックアップしてください。

対応カートリッジ

次の弊社Webページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

増設するカートリッジの選び方

増設するカートリッジは、現在接続されている内蔵カートリッジ 1 台分の容量以上のものをお選びください。

カートリッジを増設した場合

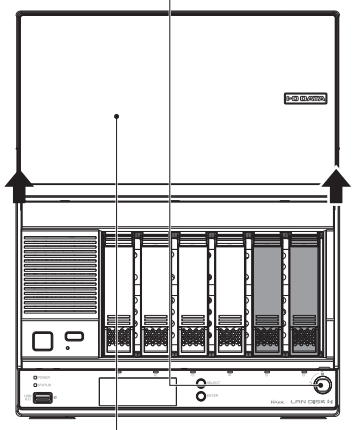
HDL4-HBEX シリーズが、アイ・オー・データ機器が提供する保守サービス ISS に加入している場合は、以下の Web ページに記載の方法で増設 HDD の登録が必要です。

https://www.iodata.jp/support/iss/

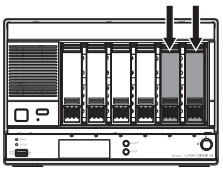
※ログイン後、「空きスロットへの増設ドライブ登録」ボタンから追加登録をおこなってください。
※カートリッジの追加登録をいただかない場合、ISS保守では、HDL4-HBEXシリーズ本体のみが保守対象になります。
※登録できるカートリッジは2台です。

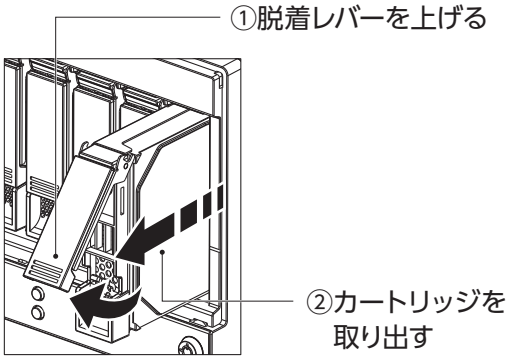
カートリッジの増設方法

1 カートリッジを 2 台準備する
※表面【対応カートリッジ】参照

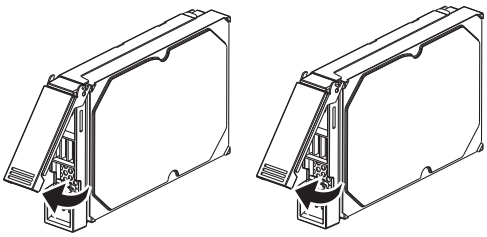
2


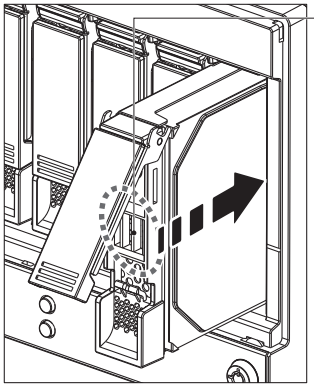
3 ダミーカートリッジ
2 台を取り外す



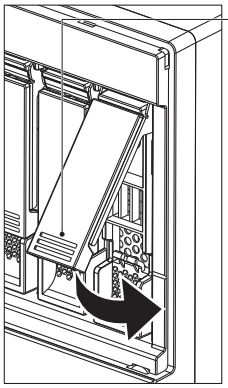


4 取り付けるカートリッジの着脱レバーを
固定されるまで上げる

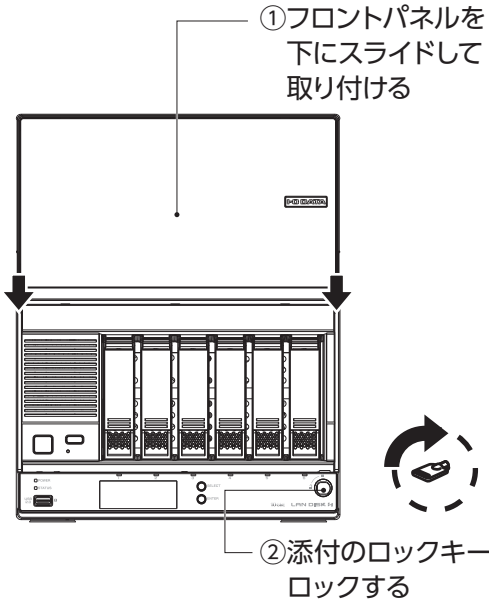


5


※カートリッジを
押しこむ際は、
必要以上の力
を加えないで
ください。
故障の原因と
なります。

6


※カートリッジを 2 台
とも取り付けます。

7


自動組込有効の RAIDeX(拡張ボリューム)(4 台)※
の場合は、6 台のモードでそのまま使用できます。
※出荷時設定

自動組込無効の RAIDeX(拡張ボリューム)(4 台)
や RAID x(4 台) に変更している場合は、表面の
【アップグレード】をご覧ください。